令和6年度　企業会計決算状況

区　　分	収益的収入及び支出		資本的収入及び支出	
水道事業会計	収入	6億882万8,925円	収入	174万2,633円
	支出	5億6,149万561円	支出	4,278万8,492円
下水道事業会計 （公共下水道事業）	収入	7億849万1,592円	収入	1億2,539万7,490円
	支出	6億7,491万7,136円	支出	3億514万4,274円
下水道事業会計 （農業集落排水事業）	収入	2億7,992万2,655円	収入	3,906万5,000円
	支出	2億6,979万1,953円	支出	9,747万9,581円

一般質問

1　議席10番　田山　文雄　議員
(1)熱中症対策について
(2)「小1の壁」問題について

2　議席3番　枝　史子　議員
(1)公園等の整備と利活用について

2人の議員が登壇しました

議席10番　田山　文雄　議員

熱中症対策について

Q　町内における小中学校の熱中症対策としての当町の取組について。

A　特に小学生、特に体温調整機能が未発達な低学年の児童にとって、熱中症対策は生命・健康を守る最優先課題の一つであります。当町においても、文部科学省及び環境省のガイドラインにのっとり、取組を進めております。

教室環境の整備と冷却対策につきましては、全ての小・中学校、教室へのエアコン整備が完了しており、夏場は適切な温度管理を行っています。また、水分補給とクールダウン体制につきましては、児童には水筒の持参を奨励し、授業中・登下校時を含め、こまめな水分補給を指導しております。

今後も児童・生徒の安全・健康を守るため、国の最新のガイドラインを踏まえて、当町としてもガイドラインを策定し、暑さ指数の情報を踏まえつつ、地域、学校、家庭が一体となった総合的な熱中症対策を継続・拡充してまいります。

（町長・教育次長）

「小1の壁」問題について

Q　共働き世帯が増える中において朝の居場所確保が課題となっているが、当町の取組について。

A　先ほど田山議員から実際の事例があると、いうことを承りましたので、私ども教育委員会といたしましても、今後、小学校低学年を対象に調査をしてまいりたいと考えております。また、送迎支援・スマートモビリティとの連携としまして、町が強みとする自動運転バス等のモビリティ事業と連動し、放課後の居場所から自宅周辺までの安全な移動支援の実証にも取組んでまいります。

また、地域の退職教員、学生ボランティアなどとの連携強化を図り、地域めぐみで子どもを育てる環境整備にも力を入れており、小一の壁を乗り越えるためには、学校、家庭、地域が一体となった支援体制の構築が不可欠でございます。

当町といたしましても、今後も町民の皆さまの声を丁寧に受け止めながら、子育て支援のさらなる充実に向けて取組んでまいります。

（教育次長）